



七夕に願いを込めて
七夕祭り

きずな

合志市 議会だより 第18号

2010年 6月定例会

- 補正予算・条例改正 2~3
- 意見書・人事 4
- 委員会報告 5~7
- 賛否表 8
- 一般質問 9~15

肉付け予算決まる!

22年度一般会計補正予算 補正後総額 163億220万円



市道改良事業
…1億9,950万円

みづき台交差点市道改良事業



公共交通の充実
…6,890万円

コミュニティバス2台購入



子どもを見守り、
育てる地域づくり
…6,420万円

延長事業の保育施設

6月定例会は6月7日から25日までの19日間の会期で開催しました。
市長改選後初の定例会で、荒木市長は冒頭に所信表明を行いました。
22年度一般会計など補正予算関係4件、条例の一部改正5件ほか合志市教育委員会委員の任命などの人事関係5件その他報告など合わせて20件が上程されました。
執行部提出案件は人事関係1件を不同意と

し、その他の案件は原案のとおり可決しました。最終日に、議員提出議案として「口蹄疫対策の充実強化を求める意見書」を可決。政府に提出しました。
また、選挙管理委員会委員、並びに選挙管理委員会補充員を選任しました。
一般質問は13人が市政に関する問題を質しました。

平成22年度第2回定例会日程

月	日	曜	会議名	主な内容
6	7	月	本会議	市長提出議案上程及び説明
	14	月	本会議	質疑、委員会付託
	15	火	常任委員会	付託事件の審査
	16	水		
	17	木		
	21	月	本会議	一般質問
	22	火		
	23	水		
	25	金	本会議	委員会報告 (質疑、討論、表決) 議員提出議案 (上程、質疑、討論、表決)

補正後総額	
	31億5,740万円
	17億8,180万円



条例改正



新設されたまちづくり戦略室

「まちづくり戦略室」新設

市の区域をこえて対外的な企画を行い、市長のマニフェスト関連事業の取りまとめを行う部署

- ・市長公室を廃止 企画財政課を「企画課」と「財政課」に分課した機構改革を行う。

国民健康保険税の限度額の引き上げと新たな軽減措置!

- ・基礎課税限度額を47万円から50万円に
- ・後期高齢者課税限度額を12万円から13万円に
- ・倒産、解雇者の軽減措置の創設

地方税法の改正により市の税条例を改正!

- ・扶養親族申告書の提出規定創設
- ・たばこ税率の引き上げ

育児を行う職員の深夜勤務及び時間外勤務の制限

- ・3歳に満たない子のいる職員から請求が出た場合（業務の処理をするための措置が著しく困難である場合を除く）

9億6,220万円

補正予算の主なもの



総合センターヴィーブル空調設備

合志庁舎&ヴィーブル空調設備改修 他

…**2億4,330万円**

義務教育の充実

…**1億6,000万円**



西合志東小学校グラウンド拡張整備事業(点線)



担い手育成総合支援事業の農機具

農業の振興

…**6,460万円**

22年度特別会計補正予算

事業名	補正額
介護保険特別会計	290万円
下水道特別会計	3,670万円

意見書

「口蹄疫対策の充実強化を求める意見書」(平成22年6月25日議決)

平成22年4月20日に宮崎県で発生した口蹄疫は猛威を振り、次々に感染が拡大している。

熊本県でも人吉・球磨地域の一部が移動制限区域となり、直接的、間接的な影響を受けた。6月4日に制限は解除されたものの、依然として続く家畜市場の休止などにより、本市の畜産業とその関連業界は大きな打撃を被っている。

国におかれては、発生以来、防疫措置をはじめ、各種対策に鋭意取り組まれているところであるが、今回の発生は長期化も予測され、宮崎県の畜産農家は勿論のこと九州管内にわたり畜産関係施設等の被害も甚大であることから、次の措置を講じられるよう強く要望する。

記

- 1 合志市では口蹄疫の侵入を阻止するため、畜産農家や関係団体、熊本県と連携し、消毒の徹底などの防疫対策を全力で実施しているが、国におかれても、口蹄疫が他地域に蔓延しないよう、消毒の徹底や殺処分家畜の埋却地の確保など万全の防疫対策を講じること。

ほか『5項目(内容省略)』。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

熊本県合志市議会議長

衆議院議長 横路 孝弘様 参議院議長 江田 五月様 内閣総理大臣 菅 直人様
総務大臣 原口 一博様 財務大臣 野田 佳彦様 農林水産大臣 山田 正彦様
国土交通大臣 前原 誠司様 環境大臣 小沢 鋭仁様

人事案件

教育委員会委員

高村 秀夫 氏(合生)

野田 博之 氏(上庄)

人権擁護委員

宮崎 正喜 氏(御代志)

監査委員

貴嶋 隆之 氏(幾久富)

固定資産評価員

園田 康通 氏(野々島)

選挙管理委員会委員

甲斐 福義 氏(須屋)

渡邊 文男 氏(竹迫)

木下 政治 氏(豊岡)

平田 友幸 氏(野々島)

注) 教育委員会委員の野田博之氏は7月21日臨時会で新たに選任されました。

産業建設常任委員会

総務常任委員会

平成22年度合志市一般会計補正予算について
(農政課)

問 「担い手育成総合支援事業」の具体的な内容について説明を求めます。

答 農機具購入やハウス等の施設整備をする場合、融資を50%以上80%以下で利用することが条
件になり、その融資残のうち



市民農園（御代志地区）新設予定地

問 事業費の30%が補助される制度となっており、17件の認定農業者が対象である。
(商工振興課)

問 中小企業振興条例制定に伴う中小企業振興策検討委員会の発足に関して委員会構成及び制定までのロードマップを示していただきたい。

答 学識者及び各種団体の代表等を念頭に10名程度の体制を予定しており、具体的な支援策の検討を重ね、年内の条例制定を目指したい。
(建設課)

問 課内の今回の補正について、緊急性や即応性を伴う新規事業はあるのか、あるいは全体的に注視すべき特徴があるのかお聞きしたい。

答 本来ならば当初予算に計上すべき予定事業であって、肉付け予算として今回補正するもので、通年どおりの根拠で選定した事業が主となっている。
(都市計画課)

問 中央運動公園整備に伴う公有財産購入費について、地権者との合意形成は心配には及ばないか。

答 中央運動公園の大池・植木線側の用地については建設課の方で用地交渉に行った際に、地権者の意向としても道路と一連で残地部分も処理していただきたい旨の申し出があっており、買取単価についても建設課で土地鑑定している

ものを採用している。
財産の取得について
(商工振興課)

問 買取単価の決定基準及び地権者間との交渉経緯について説明願いたい。

答 土地鑑定評価額から算定した㎡当たり5,300円の買取単価をもとに、地元地権者の方に一同にお集まり願ひ、数回に渡り説明会を実施している。本予算を可決いただければ地権者の方々の更なる綿密な協議を前提に、公払法による用地交渉、実施設計、地質調査及び開発許可申請を今年中に終了させたい。

議案28号 合志市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について
(市長公室)

問 目的と意図は。

答 この条例は国の専門職には当てはまるが、市職員には職として、あまり当てはまらない。

議案29号 合志市職員の育児休暇等に関する条例の一部を改正する条例について
(市長公室)

問 目的と意図は。

答 育児休業の取得要件の緩和により、職員の育児環境が整備される。

議案31号 平成22年度合志市一般会計補正予算(第2号)について
(企画財政課)

問 合併特例債の利用はどのような判断で行っているのか。また合併特例債について、将来的な計画はあるのか。

答 県への問い合わせ等を行っている。合併特例債は全体で130億円利用できる。平成20年末で30億超利用している。償還は3年据え置きなので、平成22年度から償還が始まる。平成27年度までにどれだけ利用するかを検討している。

(市長公室)

問 市政座談会については何回くらい予定しているのか。

答 区長会に投げかけてするところなので何回かは決まっていない。市長の時間調整のできる範囲で実施する。

(総務課)

問 男女共同参画推進懇話会はどのような内容で進められているのか。

答 地域に向いて細やかな動き



男女共同参画まちづくり講座の風景

議案第31号に対する付帯決議

「湯ったり乗ったり弁天カード制度導入事業」については、制度の公平性、整合性が適切に対応されるまで、本事業の予算執行を凍結すべきと決定しました。

(税務課)

問 e-L-TAX事業とはどんなものか。

答 確定申告書のデータは紙ベースで税務署からもらっているものを紙ベースではなくデータとして取り込むシステムである。

を検討していく、市民の中に踏み込んだ取り組みを行う。

文教常任委員会

平成22年度合志市一般会計補正予算について

（学校教育課）

問 学校給食センター建て替え耐用年数は

答 築30年以上経過し施設が老朽化した。

水を流さないドレイ方式の為、耐用年数は伸びる。機械設備は15年である。



給食センター建設予定地

平成22年度合志市一般会計補正予算について

（子育て支援課）

問 ケースワーカーの資格と、異動内容、人数は足りているのか。

答 ケースワーカーについては、原則的に社会福祉主事の資格をみなし要件とし、一般的には大卒文系卒業を原則としている。合志市は対象世帯130戸に対して正規のケースワーカーが3名いるので、国の基準2名を満たしている。ただ、スーパーアドバイザーは社会福祉士の班長が兼務しており専任が望ましく、今後は地域福祉の状況が難しくなってくるので、人事

合併特例債が利用できる事業

答 23年度、西合志南中の体育館改修が終了すると、耐震に関しては100%終了する。今後はプールの作り替えやグラウンドの整備事業等がある。

プール監視安全管理体制助成事業について、学校の規模も考慮できないか

答 各小学校のPTAに一律10万円助成している。生徒数に応じて助成するには問題もある。10万円で充分なのか確認する。

剣道で、子どもの育成を

答 柔道の内柴旗やバレーボールのヴィーブル旗などは実行している。今後は他のスポーツ競技も含めて検討する。

総合センター改修事業について

答 3次まで計画しているが多額の予算が必要であり見直すこともある。

子どもフェスティバルについて

答 以前は2日間にわたり実行していたが平成20年より1日となり100万円助成している。

旅費の組み替えについて

答 監査の指導を受け、費用弁償を特別旅費に替えた。

現地調査

学校や教育関連施設の現地調査をしました。

主な箇所
西合志東小学校・西合志南中学校・弁天山キャンプ場・立割集会所・給食センター・合志小学校跡地・二子上集会所など。改修計画や今後あるべき姿について協議をしました。

健康福祉常任委員会

平成22年度合志市一般会計補正予算について

（福祉課）

問 ケースワーカーの資格と、異動内容、人数は足りているのか。

答 ケースワーカーについては、原則的に社会福祉主事の資格をみなし要件とし、一般的には大卒文系卒業を原則としている。合志市は対象世帯130戸に対して正規のケースワーカーが3名いるので、国の基準2名を満たしている。ただ、スーパーアドバイザーは社会福祉士の班長が兼務しており専任が望ましく、今後は地域福祉の状況が難しくなってくるので、人事

子育て支援課

問 全額補助のふれあい館の病児・病後児室機能強化の理由は。

答 昨年の新型インフルエンザでは、ふれあい館が発熱外来の拠点に指定されているが、今の病児・病後児室では対応できない。今年、新型インフルエンザの患者が出た場合に備えて、施設のトイレやドアの改修、予防対策の備品（乾燥機など）関係を購入し体制を整えます。

高齢者支援課

問 合志市百歳祝金について、詳細な配慮をしていく必要があると考えている。

答 今までは百歳以上の方に毎年1万円を贈呈していたが、10万円と決めたので、今まで贈呈した金額を差し引き贈呈する。10万円贈呈するのは1回きりで、対象者14名の140万円、百歳以上で差し引かれる方が23名の118万円です。

平成22年度合志市介護保険特別会計補正予算について

生活・介護支援サポーター養成事業は昨年からだだが、どこに委託して、具体的な数字と成果は。

答 委託先は社会福祉協議会で、昨年30名が受講し、20名がサポーターとして登録。今年60名を予定し、1教室30名の2回行う。昨年始めたばかりで、ごみ出し、病院の付き添い、話し相手等を考えられている。



生活介護サポーター養成事業

宮崎県高千穂町と大分県豊後大野市視察研修 5月13~14日



宮崎県高千穂町について



人口14,146人、世帯数5,172戸、面積233.32km²の町です。広報委員会は「高千穂町議会報発行に関する条例」を制定しての委員会組織であり、2常任委員会より各委員長2名と議長推薦の4名、計6



名で構成されていました。議会だより「たからほ」は平成15年から21年度まで連続7年間全国町村議会広報コンクールで入賞されており、大変見やすく町民をひきつけるよう工夫されていました。紙面の割り振りは、記事4、見出し2、写真2、余白2とし、その中で記事の見出しに重点を置き、主見出し、副見出し、中見出しとして取り入れ、大きい文字、大きい写真を大胆に取り入れ全文を読まなくても見出しで概要を知り、読者の目をひきつける工夫がなされていました。一般質問の紙面はレイアウトを設定して広報委員が内容を分かり易く編集し市民が読みやすいように努力がなされていました。

大分県豊後大野市について



豊後大野市は、平成17年3月31日、大野郡三重町を軸に5町2村が合併した人口40,803人、世帯数16,356戸、面積603.36km²で大分県で3番目の広さを有しています。議会広報編集特別委員会として3常任委員会より各2名の6名で構成されています。また、議会事務局職員が6名おり、その内1名が広報担当として常時携わっております。特に感じたことは、初校までに4、5回委員会を開き初期段階に十分時間をかけ広報委員と事務局双方で作成しレイアウト作業がなされていました。写真の使い方大胆に取り入れ視

覚に訴える紙面構成となっており、写真は広報委員会が自ら撮影に向いて撮り、写真、空白部のバランスのとれた見易い紙面作りになりました。

今回の視察研修で学んだことは、記事を簡潔にし、見出し、写真で、読者をひきつけ、親しみを込めた紙面作りにして、多くの市民が関心を持って読み、作る側からの紙面作りだけでなく、読者側の市民の声を聞きながら広報委員一同、努力してまいります。



主な審議案件と議決結果

審議案件		議決結果	
条例 5 件	合志市税条例の一部を改正する条例ほか4件	原案可決	
予算 4 件	平成22年度合志市一般会計補正予算(第2号)ほか3件	原案可決	
同意 4 件	合志市教育委員会委員の任命	(同意第1号)	原案不同意
		(同意第2号)	原案同意
	合志市監査委員の選任ほか1件	原案同意	
その他 7 件	熊本県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更ほか6件	原案可決	
議員提出1件	口蹄疫対策の充実強化を求める意見書	原案可決	
選挙 2 件	合志市選挙管理委員会委員の選挙ほか1件	議長指名推薦	

賛 否 表

- 承認第 1号 合志市税条例の一部を改正する条例
- 承認第 2号 合志市国民健康保険税条例の一部を改正する条例
- 議案第 30号 熊本県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更
- 議案第 31号 平成22年度合志市一般会計補正予算(第2号)
- 議案第 34号 財産の取得
- 同意第 1号 合志市教育委員会委員の任命
- 同意第 2号 合志市教育委員会委員の任命

	議席番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	
	結果	表決数	上田 欣也	濱元 幸一郎	青木 照美	坂本 早苗	辻 敏輝	島田 敏春	尾方 洋直	濱口 正暁	坂本 武人	吉永 健司	神田 公司	来海 恵子	木場田 孝幸	松井 美津子	木村 祐一	池永 幸生	佐々木 博幸	今村 直登	丸内 三千代	松下 広美	吉廣 満男	東 孝助	青木 伸一	
承認1号	承認	20:3	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
承認2号	承認	21:2	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第30号	可決	21:2	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第31号	可決	20:3	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第34号	可決	21:2	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
同意第1号	不同意	8:13	●	●	●	●	●	○	●	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	●	●	●
同意第2号	同意	21:2	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7月21日臨時会 同意 第5号	同意	21:2	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※起立採決を行ったものに限ります。

○は賛成 ●は反対 △は退場

国の責任で ポリテクセンター熊本の 継続を！

濱元幸一郎 議員



濱元 黒石にあるポリテクセンター熊本では、失業者等への技能訓練、再就職の支援が行われている。大変重要な役割を果たしている。ところが国は、民主党政権の事業仕分けにより県に移管する方針を打ち出した。その際には予算は半減され、人員も25%削減される。これまでのように運営をすることは困難であり、廃止の危機にある。市長の見解を求める。

市長 県民・市民にとって大変重要な施設と認識している。現状のまま国の責任において存続してほしい。

濱元 5月に共産党市議団として政府交渉をおこなった。この問題で厚生労働省に対して、政府が存続のために責任を果たせと強く要請した。職業訓練行政からの国の撤退を許さないという立場から、合志

ポリテクセンター熊本



ポリテクセンター熊本

市長として国に意見を上げるべきだ。
市長 県としては費用を伴う事業継続はやらないという形で国に返事をしているということだ。しかし、ぜひ必要な施設なので引き続き国の方に対しても県から強く要請をしてほしいとお願ひした。ポリテクセンターは荒尾市にもある。国に対してどういった働きかけができるのか、2市が基本となって一緒に取り組んでいきたい。

所信表明について

濱元 今回の所信表明では市民の暮らしの現状認識が述べられなかった。いま、生活をする、生きることが大変困難になっている。市民の暮らしを守ることこそ一番の課題ではないか。

市長 福祉・医療だけを特別扱いするのではなく、財政そのものをしっかりと見据え、継続的にサービスがおこなえること、これを私は基本的な考え方として政策的な運営に当たっていききたい。

更なる耕畜連携を

木村 祐一 議員



木村 有機質肥料促進事業の現状と課題についてお尋ねしたい。

産業振興部長 農家から科学肥料の購入費削減、堆肥処理とあわせ稲ワラ等の確保につながっている等の意見がある。申請件数が81戸と農家全体の26%の割合で、耕畜連携としてまだ低く感じており周知や利用促進をはかる必要がある。

木村 事業内容の拡充も必要かと思う。地下水への影響等を考慮して耕種農家に対するストックヤード助成また従事者の高齢化に伴い堆肥散布までの働きかけが必要と思うが。

産業振興部長 昨年、補助金限度額を引き上げた。この事業については当面このままでいきたい。

若者の定住する地域づくりを

木村 住民の安心、安全を確保するインフラ整備は進み医療、福祉、教育、防災面も対策が講じられてきた。しかしこのままで良いのか？北部農村地域の高齢化対策、若者が定住する地域づくりとは。

総務企画部長 総合計画の中で、北部地域は自然共存ゾーンと職住交流ゾーンに位置し、国道387号と計画の中の県道大津植木線バイパスが交差する一帯を広域交通の要所に定め、商工業の拠点づくりを目指している。市長マニフェストの土地利用検討委員会を含めた幅広い検討が必要と考える。

子どもたちは大事な財産

木村 任意接種ワクチンの中で、細菌性髄膜炎予防のヒブワクチンと小児用の肺炎球菌ワクチン接種の公費助成についてお尋ねします。

健康福祉部長 単独助成ではヒブ、肺炎球菌、そして子宮頸がんワクチンとなると事業開始年度7000万円程度経費が必要になる。命を大切にすることは前向きに検討し、財政状況も十分考慮しなければならぬ。



市民生活を

安全第一に

今村 直登 議員



（行政の継続性について） 子どもの遊び場の確保を！

今村 2月議会ですべての子どもの遊び場について質問後、公園周辺の方々から窮状が寄せられている。この切実な要求に対しての市長の考えは。

市長 私の所にも色々声が届いている。少し時間を頂いて、どうやって実現できるか真剣に検討したい。

今村 泉ヶ丘市民センターの駐車場がいつばいで駐車できない。ゲートボール場を駐車場にして、その分を元気の森公園に移せないか。

都市建設部長 法的な問題もあるが子どもの遊び場同様、検討したい。

自衛隊の演習場について

今村 沖縄の普天間基地移転について、民主党は「国外、県外」との公約を破って名護市辺野古にと言っている。一方で沖縄の負担軽減を言っている。これは米軍の訓練を本土の自衛隊の演習場に移すと言っていることだ。本市には、市の中央部に演習場がある。基地使用の申し入れがあったら

どうするのか。

市長 ヘリ基地の周辺や学校なども騒音で困っている。払い下げてほしいとの声も届いている。私は、災害時の県北の救援拠点として使用できないかと考えている。当然、米軍の基地使用は受け入れない。



黒石原演習場

（所信表明について） 健康都市構想について

今村 健康を声高に言えば、気になの方々もいる。配慮が必要だ。

市長 町づくりの総称として「健康都市こうし」と申し上げています。配慮ということでは肝に銘じてやります。

障がい者問題について

今村 市長は、障がい者問題は政治の原点と申しているが、障がい者や家族の生の声を聞いて欲しい。

市長 当然声を聞くことは大切にしたい。機会があれば是非出席したい。

所信表明及び

マニフェスト

尾方 洋直 議員



まちづくり戦略室

尾方 7月からスタートされます。実施の内容。そして来年4月からの本格的な機構について問う。

市長 「健康都市こうし」この実現に向けスタッフ5名程度でまず第一期に掲げたマニフェスト政策と第二期基本計画との連携調整を推進するため準備する部署です。4月から本格的な機構改革として総務企画部内に置きます。第二期基本計画を企画課で、将来のシミュレーションと今の体力というものを財政課で検討し、新しく提案しているものをまちづくり戦略室で行ってまいります。

尾方 現在の合志市では刑法認知数が他に比較して非常に多い。マニフェストの合志警察署誘致について。

市長 すでに要望活動を始



合志菊陽交番

めています。概略的には熊本市の政令市移行によって警察機構も大きく改革すると思われれます。誘致に対して市民の安全安心の地域づくりの市民運動が原点であります。

尾方 合志市消防署誘致の適地の決定は。

市長 広域行政として連携していかなければならぬ。合志市として考えをまとめること。特に広域本部の誘致について議会で集中議論を行い統一見解を早急に結論を出して頂きたい。

尾方 都市計画法が施行されて約30年以上過ぎています。今日、熊本市政令都市問題と共に合志市独自の都市計画法の作成が急務です。熊本市圏離脱の考えはありますか。

市長 合志市の土地利用計画を基礎から作らなければならない。当市も5年ぐらいは人口が増加を見込みで熊本市との関係を大事にし離脱は極論ですが、その事も含み今取りかかれば間に合わない。あまり期間をかけないで結論を出していきたいと考えております。

ライフラインは大丈夫か？

来海 恵子 議員



来海 旧合志町と旧西合志町に水道が整備されて、どの位経つのか。

水道局長 旧合志町で47年、旧西合志町で44年が経過しています。

来海 漏水は年間どの位あって、金額にするといくらか。

水道局長 漏水の修理費は、20年度は宅地内修理を含め247件で1476万円、平成21年度は328件で1749万円です。

来海 南部地区では水道蛇口から錆が混じっていることがあるが、何が原因なのか。

水道局長 各家庭の給水管の老朽化によるものと考えられます。

来海 震度6強相当の揺れに耐えられる「耐震化適合性」を水道施設は持っているのか。

水道局長 現状は配水池14箇所中、3箇所は耐震化されており、また、150mm以上の配水管は耐震化適合性を持っています。

来海 熊本県の耐震化適合性のある水道管の割合は24・6%ですが、合志市は。

水道局長 約50%です。

来海 厚労省は、全国の主要水道管全てを25年度までに耐震化整備する目標を設定。合志市の計画は。

水道局長 22年度に配水池の耐震診断を予定し、配水管は布設時には耐震性の管の布設に努めています。

来海 水道管の法的耐用年数は40年です。災害時に生活に最も影響を与えるのが断水だが、危機管理は。

水道局長 地域防災計画や、水道局の災害対策マニュアルに基づき行動し、昨年8月に管工事組合と災害時の協定を結びました。

来海 合志市は他より水道料金が安く、水道事業会計も安定しているが、水道管は耐用年数を過ぎて何時、何が起こるか分かりません。具体的な計画を立てる時期では。

市長 早急に調査検討をしたいと考えています。



漏水現場

減量化の徹底と市民参加による新規清掃工場建設を！

神田 公司 議員



神田 燃やすごみを10%減量すれば、4300万円の（菊池環境保全組合の）分担金が減り、半減では2億5000万円減る。現状として削減できるものは6割。水俣市が22分別で、菊池環境保全組合は16分別。これは、全国でも非常に頑張っている。ごみの減量化への基本的な認識は。

市長 減量ということは当然やっていかなければならない。その目標数値は立てなきゃならないが、今、軽々にこれが目標数値だと言えるところまでの私の判断できる資料がない。もう少し時間をいただきたい。基本的には減量の方向で進めていきたい。

神田 6月3日の熊日では、「八代市が可燃物処理一部委託。委託費1億465万円を追加」という。（八代市の）ごみの焼却場は1975年からもう35年。ごみの減量化の徹底と市民参加による新規の清掃工場の建設の準備をしないと、本当に明日は我が身になる。環境保全組合の中には環境工場建設候補区域選定委員会というのがあり継続した事業

として判断を急がなければならない。環境（清掃）工場を作ることにに対し、合志市の役割をどう考えられているのか。

市長 新しい工場に対しては、安全性というものは絶対に譲ってはいけない。これが疑われては受け入れる地域はまずない。ふたつ目は施設をメリットとして、ある程度広域的な土地を確保するし、そこを何かに利用できないか。そういった議論まで持っていけたらと思う。家人組合長（大津町長）の方にも、早急に二市二町の会議をやってくれというお願いをしているが、未だに開催をされない。是非説明をしていきたい。



プラスチック類の手選別（環境美化センター）

障がい者福祉の

充実を

池永 幸生 議員



池永 合志市住民の約5%の方が身体、知的、精神の障害者手帳を所持されている。平成18年にそれまでの制度の財源困難や、整備の不都合で障害者自立支援法が施行されたが、課題があるのでは。

健康福祉部長 利用者に応益負担が生じたりサービス提供事業所の収入減などの問題がある。法の見直しや負担減、人材確保に取り組みられているが、政権交代に伴い法の廃止、利用者の応益負担を基本として新たな制度の検討が行われている。

池永 市町村に、障がい福祉計画の中に地域生活支援にかかる政策の盛りこみを計るようになってきている。ボランティアを利用した取り組みも必要と思われる。障がい福祉への取り組みがまだ十分とは思えない。支援する場所等の設置を願いたい。

健康福祉部長 市独自のサービスとして外出支援サービス事業や紙おむつ支給事業、非課税の場合、利用者負担を無料にしている。地域の取り組みとしてはボランティアの方の専門的知識の養成、社会福祉協議会や

施設との連携を進めていかなければと思う。障がい者の方が家庭に閉じこもってしまわれないよう安心して集える居場所作りが重要と思われる

池永 障がいのある方への差別、偏見をなくすためにも幼少期からの教育が大事と思う。国連の障害者権利条約にも差別の禁止が謳ってある。

教育長 障がい教育はこれまで紆余曲折あったが、今の特別支援教育が障がいのある子どもと健常者を一緒にするのが良いと思いついて推進している。健康福祉部長 国でも障がいの権利条約の締結に必要な法の整備が検討されている。

池永 市長の施策方針に「私の政治の原点は障がい者福祉」と言われていたが。

市長 秘書時代、就職支援に携わり現実的な矛盾を感じた。これから自立支援、生活支援に取り組む。



障がい福祉 車椅子

選挙公約は

実現できるのか

坂本 早苗 議員



女性センターがすみ草館開設

坂本 マニフェストでは2つの歴史資料館を統合して、不要となった施設に女性センターを設置するとあるが、資料館の統合が簡単にはできない。教育長 教育委員会の中の文化財保護委員会でも検討したが、それぞれの思いが強く1つにまとめるのは困難な現状である。

坂本 改修費1千万円で2年以内に実施するとあるが、実現可能か。

市長 2年の範囲内で検討し、答えを出すよう取り計らっていききたい。



右 合志資料館
上 西合志資料館

土・日に市役所や出先機関で手続きができます

坂本 10月より日曜日の窓口を試行

的に開設することが市長より表明されました。水曜日の夜間開庁をやめて、日曜日の午後1時まで合志庁舎を開ける計画です。土・日に出入先機関で手続きできると書いていた公約とは大きな差があるのでは。

市長 職員との話し合いの中で今回の提案とした。半年間実施し、その結果によって段階的に進めていきたい。

合志市健康総合グラウンドの整備促進

坂本 この事業は既存のグラウンドの整備なのか、あるいは新たに用地を確保して新設のグラウンドを作るのか。
市長 現状の施設整備状況をしつかり見て、将来的に新しいものを作るという考えも持っている。

収入役の廃止(年間1000万円)

坂本 地方自治法の改正により新たに収入役を配置することは認められていない。にもかかわらず公約として掲げた理由は。

市長 皆様方が誤解をしたということならば改めてお詫びを申し上げたい。

所信表明について

松井美津子 議員



松井 「健康都市こうし」をめざすについて、命を守る立場で不育症や子宮頸がんワクチンの公費助成に前に進む必要がありますが。

健康福祉部長 財政の問題があるので立体的に考えていく。

松井 子育て支援日本一について、予算のわからない市民の知恵を結集して読書の町づくり宣言を提案してきましたが。

市長 読書宣言、その方向に向けて一緒に運動していきたい。

松井 公務員の持ち家手当てについて国から廃止の勧告があつているが、公務員は市民に雇われているという職の認識からいえば本市が一番に取り組むべきですが。

市長 将来、廃止という形にいきませんが組合の皆様方と話し合いもしてほしいと指導しました。

松井 人権問題について先日のハンセン病の講演での市長の率直な感想を伺う。

市長 理解をしても、交流する、触れ合うことにより、啓発が一步も二

歩も理解が深まる。入所者の皆様方と交流を通して本当の意味での支援が出来るように頑張る。

松井 中一ギャップの解消について伺う。

教育部長 不登校、問題行動などの問題解決にあたるソーシャルワーカー活用事業をさせている。

松井 発達障がいの子供のための学習支援（マルチメディア・デジタル）についての見解を伺う。

教育部長 デジタル図書につきましては積極的に対応を進めてまいりたい。

松井 セカンドブック事業の取り組みを。

教育部長 今のところ考えていない。



読書の町づくりに向けて

電鉄御代志駅（駐輪場）に 防犯灯の設置を

松下 広美 議員



松下 マニフェストの実現に向けて市長の意気込みは。

市長 マニフェストは40項目の事業と7項目の夢を掲げております。予算が伴うものは補助金の獲得に努力し、夢的な項目は市民運動を喚起し協力を求めて行きたい。

松下 公約で本年度の重点施策は。

市長 これからの合志市のまちづくりを進めるための組織機構を見直しまちづくり戦略室を設置すること。

松下 市政座談会の進め方を伺う。

市長 地域の会合をとらえて、そこに出向いて行き多くの意見等を聞くような座談会を開く。

松下 明るい職場の環境づくりをどのように考えておられるか。

市長 パソコンを利用して、職員からのメールが届きます。それを見て全部回答している。職員は聞いてもらった喜びをもらうことで職員とのコミュニケーションを図っている。

安心・安全なまちづくりのために

松下 防犯灯の設置について市の対

応を伺う。
総務企画部長 通学道路が暗いところは、防犯灯の必要性を判断したときは設置している。

松下 電鉄御代志駅構内で駐輪場付近は夜は暗くて犯罪が発生した経緯がある。再発防止のために防犯灯の設置を急ぐ必要があり対策を伺う。



総務企画部長 熊本電鉄とも協議したが道路改修の計画があるため、防犯対策の考えはないとの事であったため、市で早急に対応したい。

松下 県議時代九州沖縄農業研究センターを移転させたいと言われていたが市長になって今の考えを伺う。

市長 移転とか移動ということではなく一緒に使うような事でセンターを含む県有地についての土地利用検討委員会をできれば県市で立ち上げることができないか、県に申し入れをしている。

市長の考えを聞く！

濱口 正暁 議員



濱口 医療費用・介護費用が今後上昇傾向にあり、市民への負担も大きく、予防対策が必要だと思うが。

市長 予防対策を未病対策とも言っていますが、市として保健師の他に栄養士の必要性を感じている。食育と保健の両面から未病対策をしなければと想っている。

また、公園のあり方について、子ども達の遊び場としてだけでなく、市の職員や体育指導員の方々との協力により現場でできる健康づくりを検討して行きたい。

濱口 ラジオ体操、健康づくり体操あるいは筋力体操
そういうものを市民総参加の未病対策運動として企画
推進をお願いしたい。



夏休みラジオ体操風景

濱口 少子高齢化社会を迎えるに当

たり、若者の地元定着の為の雇用創出、更には高齢者の生き甲斐づくりの為の雇用確保策として農業・酪農の二次加工の誘致をし、経済効果アップにつなげないか。

市長 私は農家の方々の経営を安定させ、商業の持つ企画力とマッチさせ、更に工業の持っている技術力、資本力を誘導したい。そのために土地の検討委員会を設置し、様々な健康ファクトリーを成功させる下地の整備が必要と考えている。その戦力として「まちづくり戦略室」を新設し検討を進めて行きたい。

濱口 人口の60%強を占める南部団地の今後のまちづくりの進め方は。

市長 この団地も同じ時期に同じ世代が入居した関係で、あと5年で高齢化40%を超える所もある。マイカーに頼らない公共交通機関の整備が必要になる。更には防犯、交通事故等地域のマンパワーと協働してまちづくりや住む人たちの安全・安心・また転入者の若い人たちが移り住みやすい環境づくりを進める政策を早急に固めたいと思っている。

農家最大の危機

吉永 健司 議員



吉永 中国、韓国では各地で口蹄疫が発生している。民主党政権になりその国から稲藁の輸入が解禁となった。その後、口蹄疫が宮崎で発生した。口蹄疫感染の原因は、防止対策として、本市は畜産農家に石灰、その後、消毒薬を配布された。対応は迅速だったが、規模に関係なく一律の理由は。最初から、より効果の高い消毒薬を検討出来たのでは。市内畜産輸送業者も農家と同じように対象とすべきでは。施設園芸農家においても、コナジラミやアザミウマによる被害が猛威を振るっている。農家の方の状況を聞く耳を持っていたきたい。口蹄疫の被害は来年、再来年にまで農家の経営に大きな負担となってくる。今後の支援は。

産業振興部長 感染源の特定はなされてない。規模による配布の判断が難しかった。緊急対策とご理解いただきたい。輸送業者に対する消毒薬配布は行っていない。国、県の支援状況を見て、市として出来る範囲の支援をする。

吉永 本市の小・中学校はソフト、ハード共に充実している。末永教育長のご尽力の賜物と思う。このことは数字では把握できないが、いじめや不登校を防ごうとする思い伝わる教育行政だったと思うが。

教育長 なかなか解決の糸口は見えないが、常に危機感をもって教育行政に取り組んできた。



11日の競り市再開に向け、シャワー方式の自動消毒装置が設置された南阿蘇市場-高森町

H22.7.10付 熊本日日新聞:朝刊

市長の施策方針について

上田 欣也 議員



上田 市長の所信表明にあった「国・県との関わりを強めること」の具体例についてお答え下さい。

市長 行政財産という形で、合志市内には国や県の土地がたくさんある。それらは有効に使われないうちもったいない。農研センターでの成果を農家の所得増につながるようにもつと利用することや、総合計画にある国・県の支援事業を急いで実行に移す時期だ。

上田 行政区にとらわれず、近隣市町村と連携したいと考えるのはどういう分野か。広域の合併は。



九州沖縄農業研究センター

市長 セミコンテクノパーク付近の道路整備や公共交通網における横軸のつながり、医療や買い物のような経済面での連携など。パートナーと

いう関係を大切にしたい。

今は合志市をどう伸ばすかが優先だが、その先にはさらなる合併の話が将来的には出てくることは当然の流れとしてあるかもしれない。

上田 「スピード感を持ってトップセールス」を行うためには、日常的に市長の職務をサポートする副市長が必要でしょう。その時期や人選についてお考えをお聞かせ下さい。

市長 国や県に対して、人材についての働きかけはやっていない。自分の考えを理解すると同時に、足りない部分を補いつつ、支えになる人物を早期に選びたい。

上田 マニフェストの評価はどういう方法を取るつもりですか。

市長 評価には、自己評価と外部評価がある。事業によっては、第二期基本計画の中に反映されるものであれば、行政評価システムによって数字で分かりやすく出てくるだろう。その他については、自己評価と皆様による評価を受けたいと思う。



議会の動き

(3月～7月)

【3月】

- 25日 議会広報調査特別委員会
- 31日 第1回臨時会招集、議会運営委員会

【4月】

- 14日 熊本県市議会議長会(山鹿市)
- 19日 議会広報調査特別委員会
- 22日 九州市議会議長会定期総会(佐賀県)
- 27日 全員協議会・議会広報調査特別委員会
- 28日 菊池地域議会議長会

【5月】

- 6日 議会広報調査特別委員会
- 13～14日 議会広報調査特別委員会行政視察研修(宮崎県、大分県)
- 13日 石川県石川郡野々市町議会より「図書館の管理運営について等」視察研修
- 17日 三重県菰野町議会より「福祉施策について」視察研修
- 21日 全員協議会

- 21日 兵庫県加西市議会より「子育て支援日本一のまちづくりについて」視察研修
- 25～27日 第86回 全国市議会議長会定期総会(東京都)
- 31日 議会運営委員会

【6月】

- 7日 議会運営委員会、全員協議会、6月定例会招集(7～25日)
- 17日 菊池地域議会議長会

【7月】

- 6日 東京都多摩地域市議会より「行政評価(事務事業評価)を決算審査に活かすしくみ」について視察研修
- 14日 鹿児島県南九州市議会より「議会運営に関する事項及び議会の諮問に関する事項」について視察研修
- 20日 兵庫県丹波市議会より「行政評価の手法を取り入れた決算認定について」視察研修
- 21日 第2回臨時会招集、全員協議会、議会活性化調査研究特別委員会

平成22年第3回定例会日程(予定)

月	日	曜	会議名	主な内容
9	1	水	本会議	市長提出議案上程及び説明
	7	火	本会議	質疑、委員会付託
	8	水	常任委員会	付託事件の審査
	9	木		
	10	金		
	13	月		
	15	水	本会議	一般質問
	16	木		
	17	金		
	22	水	本会議	委員会報告 (質疑、討論、表決) 議員提出議案 (上程、質疑、討論、表決)

※日程は変更になる場合があります。

表紙のはなし

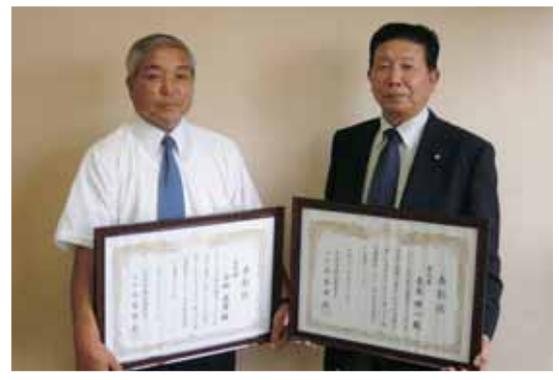
7月7日

ヴィーブルにおいて開かれた七夕まつりハーモニカコンサートの1コマ。

健やかな子ども達の「ねがい」が叶いますように。



おめでとうございます
合志市議会初表彰



今村直登議員

青木伸一副議長

第86回全国市議会議長会定期総会において、青木伸一副議長、今村直登議員が議員在職10年以上表彰を受けました。

議会だよりに対するご意見は

合志市議会事務局
電話 096-248-1111(代表)
248-2038(直通)
Fax 096-248-2047
メールアドレス gikai@city.koshi.lg.jp

お知らせ

次回の定例会は9月開催となります。ぜひ、傍聴においでください。

市のホームページに、議会の情報を公開しております。また、今までの議会だよりもご覧になれます。



議会広報調査
特別委員会

- 委員長 青木 伸一
- 副委員長 丸内三千代
- 委員 濱口 正暁
- 〃 尾方 洋直
- 〃 濱元幸一郎

新荒木市政がスタートしました。市長は「健康都市こうし」を創ることを目標に強い意思と行動力を持ちながら市政運営に努めると約束されました。議会も全力で取り組みます。

迅速な支援により、家畜農家、地域経済の復興を願ってやみません。

災害といえば宮崎県で発生した、家畜口蹄疫は家畜農家にとって壊滅的な被害となりました。家族同様の家畜を殺処分しなければならなかった農家の心情と苦悩を考えると心が張り裂けそうな思いです。本市も畜産が盛んな市として一日も早い終息宣言を祈らずにはいられません。宮崎県の畜産農家はもとより、熊本県を含む隣接県で市場休止により被害を受けた農家、地域に対する充実強化を求める意見書を採択し、政府に提出しました。今後の迅速な支援により、家畜農家、地域経済の復興を願ってやみません。

温暖化の影響でしようか 今年も各地で豪雨による災害で甚大な被害が報告されています。合志市は、幸いにして、大きな被害は発生してはいないようです。

編集後記

